会　議　録

１　会議名

令和６年度第１０回名立区地域協議会

２　議題（公開・非公開の別）

１報告事項（公開）

（１）令和７年度以降のろばた館について

（２）令和７年度の地域独自の予算事業の一覧について

２自主的な審議（公開）

（１）自主的な審議テーマの検討について

３その他事項（公開）

※地域協議会終了後に「話合いの充実に向けた研修」を実施（非公開）

３　開催日時

令和７年２月２５日（火）午後６時３０分から午後７時５５分まで

４　開催場所

名立地区公民館　第１・第２会議室

５　傍聴人の数

０名

６　非公開の理由

―

７　出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

・委　　員：池垣委員、石井委員、髙宮委員、中野委員、新田委員、二宮委員、畑委員、原田委員、細谷委員、矢沢委員、吉沢委員

・事　務　局：沢田次長（総務・地域振興グループ長兼務）、塚田市民生活・福祉グループ長（教育・文化グループ長兼務）、木村地域振興班長

・農村振興課：志賀課長、佐藤副課長、荒井主事

８　発言の内容

【木村班長】

・会議の開会を宣言

・上越市地域自治区の設置に関する条例第８条第２項の規定により、委員の半数以上の出席を確認し、会議の成立を報告する。

・原田会長に挨拶と議長を依頼する。

【原田会長】

・挨拶

・沢田次長に挨拶を求める。

【沢田次長】

・挨拶

【原田会長】

・事務局に資料の確認と会議録の確認者の発表を求める。

【木村班長】

・配布した資料の確認

・会議録の確認者：新田委員、二宮委員

【原田会長】

・次第２、報告事項の（１）令和７年度以降のろばた館について、農村振興課に説明を求める。

【農村振興課　志賀課長】

・前回の地域協議会において、ろばた館の来年度の運営について説明したが、その時は市議会への議案提出前ということもあり、口頭での説明のみであったが、本日は資料を用いて、議会へ提案している内容について説明させていただきたい。

・この内容は、市議会３月定例会へ令和７年度予算案として提出しているもので、これから市議会で審議が行われるため、今後内容が変更する可能性があることを、あらかじめご了承いただきたい。

・資料Ｎｏ．１－１及び資料Ｎｏ．１－２に基づき説明

【中野委員】

・資料Ｎｏ．１－２について、現状と改修案の図面を見比べるとサイズが違うように見えるが、実際はどうなのか。

【農村振興課　志賀課長】

・分かりやすく縮尺を変えたもので、実際は同じサイズになる。

【中野委員】

・先日発行の名立区だよりでも、ろばた館について周知していたが、その内容と違う部分はあるか。

【木村班長】

・名立区だよりでは、今回お配りした資料Ｎｏ．１－１と同じ内容をお知らせしているが、資料Ｎｏ．１－２にあるような厨房の改修内容までは周知していない。

【中野委員】

・地域協議会に示された資料では「案」となっていて、先ほどの説明では、これから市議会で審議されるため、内容が変更になる可能性もあるとのことだったが、名立区だよりではそのあたりの説明は記載されていなかったと思う。

【沢田次長】

・確かに名立区だよりでは「案」の記載はなかった。最終的には市議会の議決をもって確定するが、私たちとしては、今回説明した内容で進めたいと考えているため、地域の皆さんにお知らせしたところである。

【池垣委員】

・資料では４月１日から温浴と食堂機能を「休止」するとあるが、これまでの説明では「廃止」だったと思う。何か違いはあるのか。

・確か、名立区だよりも「休止」となっていた。「休止」と聞くと、一時的にお休みするというイメージを持つが、あえて「廃止」ではなく「休止」という表現を使っているのは何か意味があるのか。

【農村振興課　志賀課長】

・これまで何年にも渡り、ろばた館のあり方について、地域の皆さんと協議を進めてきたが、次の活用方法が明確に決まる前に、また条例等の必要な手続きを行っていない段階で廃止することは難しいと考えている。地域の皆さんからいただいたご意見を踏まえて、施設改修に必要な予算を要求しているので、改修が終わった段階で、休止していた施設を廃止させていただくこととしている。

・また、現在の条例では、ふれあいホールや厨房に関しては貸し出すことができるようにはなっていないため、改修し地域の皆さんに活用していただける状態になった際には、利用料金等の必要事項を条例に明記し、それと併せて温浴と食堂を廃止す

る手続きを行う計画である。

・最終的に、「廃止」という結論は同じかもしれないが、地域の皆さんからいただいた意見に対して、予算措置や改修計画を地域協議会にお示しするなど、手順を踏んで丁寧に進めていきたいと考えている。

【二宮副会長】

・資料Ｎｏ．１－１に、「４月以降も指定避難所として使用します」と記載されているが、もしも休館日に災害が起きた場合でも開館してもらえるのか。

【農村振興課　志賀課長】

・避難所として使用する際は、これまで通り休館日や夜間でも開錠する。

【沢田次長】

・地元町内会長からも鍵を預かってもらっているが、避難所として使用する際は、避難所初動対応職員が決まっていて、その職員が避難所の設営を行うことになるので、４月以降もこれまでどおり対応できる。

【新田委員】

・資料Ｎｏ．１－１の開館時間を見ると、土曜日と日曜日の記載がないが、営業はどうなるのか。

【農村振興課　志賀課長】

・土曜日と日曜日の記載が抜けていて申し訳ないが、「金曜日」と記載されている枠が「金曜日～日曜日」と訂正させていただきたい。

【二宮副会長】

・資料Ｎｏ．１－２について、改修案を作成するにあたって、実際に利用が想定される団体やプロの方に意見は聞いているのか。

【農村振興課　志賀課長】

・改修案の作成にあたっては、地域でろばた館を活用されている方の声をお聞きしながら作成した。

・改修費を増額すれば、もっと違った改修ができるとは思うが、限られた予算の中で、再利用できるものは利用しながらも、地域の方が利用しやすいように最低限はしっかりと改修したいという想いの中で、この案に落ち着いたというのが現状である。

・現場を見ると、加熱調理機やシンクが非常に古く、使い勝手が悪いので、この辺り

を中心に優先順位を付けながら計画したところである。

【二宮副会長】

・カウンターにある食器棚は撤去するとの計画だが、この食器棚に収納されている食器はどうなるのか。

【農村振興課　志賀課長】

・食器の収納場所等についは、今後検討する予定である。

【原田会長】

・今は基本設計の段階であり、今後、予算が認められて、本設計や業者との打合せをしていく中で、若干の変更はあるかもしれない。

【農村振興課　志賀課長】

・大規模な工事となると、設計を行うが、今回はそこまで経費をかけず、業者に現場を見ていただきながら、進めていきたいと思う。

【二宮副会長】

・ろばた館の空調に関して、現在は全館空調になっていると思うが、今後はどうなるか。

【農村振興課　志賀課長】

・空調も老朽化しているが、引き続き全館空調のまま使用する予定である。

【二宮副会長】

・現在、ろばた館で定期的に開催している「うまいもん市」についてはどうなるか。

【沢田次長】

・今後、関係団体と話し合いを進める予定である。

・そばまつりをはじめ、食のイベントは今後も継続してほしいと思っている。引き続き、ろばた館を活用してほしい。

【原田会長】

・地域協議会としても、ろばた館の利活用案を提案しているので、提案しただけで終わりにせず、継続・発展できるよう、協議を続けていきたいと思っている。

【農村振興課　志賀課長】

・今回の改修では、何かに特化した形ではなく、様々なイベントで誰もが使いやすいように改修したいと思っているので、地域協議会からの提案書にもあるように、農

産加工品の製造販売、イベント、料理教室など、多くの分野で活用していただきたい。また、高齢者の生きがいづくりの場としても活用していただけると有難いと思っている。

・私たちだけでは難しい部分もあるので、引き続き、地域協議会の皆さんに支えていただきたい。

【二宮副会長】

・１０月以降に厨房とふれあいホールが利用できる見込みとのことだが、例えばそばまつりは夏にも行っているが、そのあたりはどうなるか。

【農村振興課　志賀課長】

・改修を予定している期間のイベント等については、今後日程調整が必要になってくると思う。

・改修と合せて、皆さんに利用いただくためには料金設定等の条例改正も必要となることをご理解いただきたい。

【二宮副会長】

・これまでの説明のとおり、３月３１日をもって、温浴と食堂が休止になるが、それに向けてイベントや住民への告知など、どのように計画しているか。

【農村振興課　志賀課長】

・イベントは考えていないが、告知については、ろばた館に張り紙を貼っている他、広報上越３月号及び名立区だより３月号でお知らせしている。また、市ホームページでも周知している。

【二宮副会長】

・新規に設置する五徳の火力はどの程度のものを予定しているか。

【沢田次長】

・機種の選定等はこれから行うため、現段階で決まっていないが、活用する団体等の意見を聞きながら選定する予定である。

【原田会長】

・他に質問がないようなので、報告事項（１）令和７年度以降のろばた館については以上とする。

－農村振興課　退席－

【原田会長】

・次に報告事項の（２）令和７年度の地域独自の予算事業の一覧について、事務局に説明を求める。

【木村班長】

・資料Ｎｏ．２に基づき説明

【原田会長】

・全区の事業が掲載されているので、皆さんのお手元に保管していただき、参考資料として活用してほしいと思う。

・この件について、質問等があれば発言してほしい。

【二宮副会長】

・名立区の実施団体について、「新名立青年会」とはどのような団体なのか。

【細谷委員】

・私を中心に、新たに立ち上げた団体である。

【木村班長】

・細谷委員を中心に、子育て世代や若手が所属する団体である。

【二宮副会長】

・活動内容について教えてほしい。

【細谷委員】

・まず、３番目の「若者・子育て世代の繋がり強化事業」については、主に旧山海荘を拠点として、名立区の地域資源を活用し、親子や若者をターゲットとしたイベントを計画している。

・１２番目の「名立バスケットボール支援事業」については、名立区では昔からバスケットボールに携わる人が多かったことから、名立カップをはじめ、バスケットボールを通して名立区を盛り上げようと企画したものである。

【原田会長】

・名立区の事業一覧を見ると、委員の皆さんが関わっているものが多くある。それぞれの立場で名立区をぜひ盛り上げていってほしい。

・では、報告事項は以上とし、次第３、自主的な審議の（１）自主的な審議テーマの検討について、まずは事務局に説明を求める。

【木村班長】

・資料Ｎｏ．３に基づき説明

【原田会長】

・事務局から説明があったように、まずは何を発信したいのか、ホームページという話もあるが、どうやって発信していくのか、どのような人や団体が関わってくるのかといった中身について整理していきたいと思う。

・具体的に言うと、「何を発信するか」となった時に、イベントもあれば、日々の生活の様子、または子ども目線で発信するなど様々なアイディアがあると思う。

・発信するものが何かによって、関わってくる人や団体は変わると思うし、そのあたりを具体化しながら整理していきたい。

・ちなみに、私の町内では空き家が増え、７０世帯を下回る勢いで人口が減っている。すでに４月に転出するという話も何件か聞いている状況である。

・私の住む町内は、名立区の中でも世帯数が多い町内だが、その町内でも子どもの数が減り、子ども会が成り立たなくなってきている。

・どこの町内も同じような状況だと思うので、人口減少を食い止めるために地域として何か発信できることはないかと考えている。

【二宮副会長】

・以前も話したことがあるが、子育て世代が移住を検討する時に、最初に気になるのが、保育園や小中学校といった子どもに関する情報だと思う。

・先日、保育園の内覧会にも参加したが、とても綺麗で素晴らしい保育園だった。また、宝田小学校について、以前は頻繁に情報発信を行っていて、何か賞を受賞した記憶がある。

・このように名立区にはこんなに素晴らしい保育園や学校があることを発信することで、興味を持つ方がいると思う。

・確かに人数は少ないが、その中でも特徴的な教育を行っていたり、地域の方と関わりながら授業を展開していたり、良い部分がたくさんあるので、それを発信していきたい。

【原田会長】

・学校関係は、独自のホームページを持っているが、そこと連携しながら発信することで、情報が伝わりやすくなるかもしれない。

【新田委員】

・宝田小学校の取組は、個人的にとても興味深く、面白いと思っている。学年ごとの取組も、ブナ林を散策したり、灯の回廊に参加したりと、名立区の地域資源をうまく生かしながら授業を行っていると思う。

・私は大規模校出身なので、このような経験はできなかった。これは小規模校ならではの良さだと思う。そこをうまくＰＲできたらよいと思う。

・もう１点、私は休日になると、どこかへ出掛けたくなるタイプなので、毎週のように「上越市　イベント」でネット検索をしている。

・私以外にも、市内のイベントを頻繁に検索している方はいると思うので、検索するとすぐに出てきて、週末に気軽に行けるようなイベントがあると良いと思う。

【原田会長】

・宝田小学校の子どもたちは、不動のブナ林や宇山の桜など、様々な取組に参加してくれていて、見守る大人たちにとっても楽しみの一つになっている。

・学校はもちろん発信しているが、子どもたちと関わった団体も、その取組についてもっと発信するとよいかもしれない。

【石井委員】

・先日、宝田小学校の全学年で１年間の取組の発表があったので参加した。

・クラスごとに取組の発表をしていて、どのクラスも一生懸命で、全部の発表を見たいが、1 日で全クラスの発表を行うので、見学するのが大変だった。私としては、1 日 1 クラスにして 6 日間かけて開催してほしいと思ったくらいだ。学校の都合でそれはできないかと思うが、そのくらい素晴らしい発表であった。

・あの時の子どもたちの生き生きした様子はとても魅力的であり、もっと広く発信したいと思った。例えば、情報提供を行い、報道機関に来てもらうなどしても良かったと思う。

・まちづくり未来ネット・名立の皆さんは、イベントがあると報道機関へ情報提供を行い、取材に来ていただくなど、上手く情報発信をしていると思う。

・学校も報道機関をもっとうまく活用することができれば、情報発信につながるのではないかと思う。

【原田会長】

・福祉の分野ではホームページや会報で周知していると思うがどうか。

【池垣委員】

・社会福祉協議会全体としてホームページを開設しているが、名立区のみのページはなく、上越市全体の情報発信という形になっている。

・会報は名立支所として定期的に発行していて、そこで名立区の福祉に関する情報発信を行っている。

・町内ごとに福祉関係の会合等を行っているが、対象者が限定されていたり、個人情報を取り扱う会合もあるため、広く発信はしていない部分もある。

【原田会長】

・福祉と言っても、社会福祉協議会や老人クラブ連合、いきいきサロン運営協議会など、いくつかの団体があり、それぞれがイベントや会議を主催しているので、そのあたりも分かりやすく発信できるとよいかもしれない。

【池垣委員】

・例えば、老人クラブ連合の場合、クラブの会員にしか周知しない場合や、会員のみを対象とした企画などがあるので、不特定多数への発信に向かないケースもあると思う。

【原田会長】

・私も年齢的には老人クラブに入会できるかもしれないが、現役で働いているとなかなか気が向かない部分もある。

【池垣委員】

・確かに、「老人」と言われると、入会を躊躇する方もいるかもしれない。それもあって、会員が減る一方である。

・しかし、イベントや事業をやるにしても、ある程度若い会員がいないと、事務局だけでは運営が難しい部分もあり、若手の会員が必要だと感じている。

【細谷委員】

・魅力発信は大切なことだが、それが誰のための発信なのかを明確にしないと、発信

する意味がないと思う。目的がなく、ただ情報を発信しても「移住」には直結しないと思う。

・例えば、「流出人口を抑えたい」という目的で情報発信をする場合、そのターゲットは、子どもたちになると思う。子どもたちが成長しても名立区で生活したいと思ってもらうためには、どんな情報発信が必要かという話になるのではないか。

・何かのイベントがきっかけで、爆発的に名立区の人口が増えるということは考え難いが、子どもたちが名立区を魅力的に感じていれば、進学で一度地元を離れたとしても、Ｕターンで戻って来てくれることはあるかもしれない。

・例えば、絵が好きな子どもがいるなら、子どもたちが活躍できるような絵画展を開催するなど、子どもたちにとって魅力的な企画を大人たちが実現することで、「名立は子どもにとって面白いまち」という印象になるかもしれない。

・つまり、ターゲットを明確にして情報発信しないと、その情報は届かないのではないかと思う。

【原田会長】

・資料にある４Ｗ１Ｈを考えた時に、いつも課題になるのが、「誰が」についてだ。

・決して１人でできるものではないし、１つの組織だけが頑張っても上手くいかないと思う。名立区全体を取りまとめて、情報発信を進めていく組織が必要だろう。

・最初に思いつくのは、まちづくり未来ネット・名立の皆さんだが、すでにたくさんの事業を抱えているので、これ以上のお願いするのは難しいかもしれない。

【木村班長】

・１つの例として、諏訪区の事例がある。諏訪区では過去に、諏訪区の魅力を発信するために、当時の地域協議会委員が中心メンバーとなって「くびき野諏訪ホームページ運営委員会」を立ち上げ、地域活動支援事業を活用して、諏訪区のホームページを作成し、運用していた。地域活動支援事業終了後は、諏訪の里づくり協議会がホームページの運営を引き継ぎ、現在でも頻繁に情報発信をしているようだ。

・そのホームページを見ると、諏訪区のイベント情報をはじめ、移住希望者向けのページや諏訪区の歴史など、様々な情報を得ることができるようになっている。

【原田会長】

・実は、何年も前になるが、ＮＰＯ法人名立の１００年後を創造する会でもホームペ

ージを立ち上げたことがあるが、かれこれ４年ほど更新されていない。

・やはり、１つの団体だけでは、区全体のイベントを把握することが難しく、年々更新頻度が減り、今は全く更新されていない状況である。

・ホームページを立ち上げたからには、その後の運営までしっかりと計画を立てないと上手くいかないと思う。

・諏訪区のように、ホームページを立ち上げるための組織づくりを提案するという方法もあると思う。

【沢田次長】

・名立区には「うみてらす名立」があるので、そこと連携しながら情報発信していく方法もあるかもしれない。

【原田会長】

・確かに、うみてらす名立の協力は大きいが、民間で営利目的の所と、私たちとでは、考え方が違う部分もあり、調整が難しいかもしれない。

【沢田次長】

・地域づくりの事例を見てみると、ＮＰＯ法人が全面に出て頑張っているが、そのバックには株式会社等のしっかりとした民間企業が付いているケースが多い。

【原田会長】

・民間企業にとっても、地域のサポートをすることで、メリットがあるのかもしれない。

・誰が担うかという部分は地域協議会だけでは難しいので、そこを議論するための会を作るのがよいかもしれない。

【沢田次長】

・それも１つも方法だと思う。その会には関係団体だけでなく、地域協議会委員も何名が入っていただき、議論を進める形がよいかもしれない。

【原田会長】

・私としては、名立区の中で、ホームページの開設を含め、魅力発信を検討する団体を立ち上げて、その中で具体化していく方法がよいと考えている。

・その中で、諏訪区のように上手く運営している区があれば、視察研修などで勉強させてもらうのもよいかもしれない。また、ホームページや情報発信に詳しい方がい

れば、講師として招いて、研修会を行うのもよいと思う。

【二宮副会長】

・やはり、まちづくり未来ネット・名立の皆さんにホームページを運営していただくのがよいと思うが、難しいのか。

【原田会長】

・様々な事業を抱えているのを知っているため、これ以上の仕事は難しいのではないか。

【沢田次長】

・まちづくり未来ネット・名立でも、すでにホームページを運営していて、どちらかというと、名立区内の皆さん向けに情報発信しているというイメージがある。

・今、地域協議会で想定しているホームページは、区内の皆さんだけでなく、移住を考えている方をはじめ、区外へ広く発信する目的になると思うので、そのあたりをしっかりと精査する必要があるのではないか。

【原田会長】

・先ほどの繰り返しになるが、区内の様々な地区から、様々な世代の方を集め、関係団体や地域協議会委員も加わり、名立区の魅力発信の方法について検討する会を立ち上げる方向で進めてはどうか。

・地域協議会は実働部隊ではないので、何か行動を起こす際にはどうしても地域の皆さんの協力が必要になる。当然、私たち委員もそれぞれの立場で会には関わることになるが、地域の皆さんから協力をいただきながら進めていきたいと思う。

【各委員】

・賛成の声多数

【原田会長】

・今後の流れとしては、地域協議会で、関係団体や個人をピックアップして、会への参加をお願いする動きになると思う。

・それと同時に、諏訪区など先進事例も勉強していきたいと思う。

・次回の会議では、今後の動きをもう少し具体的にして、皆さんにお示ししたいと思っている。

・それでは、自主的な審議テーマの検討については以上とする。

・次に次第４、その他事項について、委員の皆さんから何かあるか。

【石井委員】

・大雪に対する対策本部について、名立区の場合、不動地区で３メートルを超える積雪があっても、海側では数センチの積雪しかないため、平均すると災害救助法の適用から外れてしまうが、その考え方は変わらないのか。

・濁沢町内や折居町内あたりでも積雪が多く、高齢者のみの世帯ばかりのため、除雪に大変苦労している現状がある。

・災害救助法の基準が見直されれば、そういった方が救われると思うので、総合事務所としてもっと発信していただきたい。

・もう１点、県道の傷みが酷く、運転していて怖く感じる。子どもたちが自転車で通ったら転倒してしまうほどだと思う。

・ここ数年、ほとんど補修されていないのが現状だと思うので、県へ要望していただきたい。

【沢田次長】

・１点目の大雪による災害救助法の適用については、市議会からも意見が出ていると聞いている。地域協議会からも意見があったことを担当課に伝えたいと思う。

・２点目の県道の傷みについては、私も毎日通勤で通っていて、傷みがあることは承知している。

・除雪の関係もあり、冬の時期に修繕することは難しいので、すぐには対応できないかと思うが、要望としては県に伝えているところだ。県からは、優先順位を付けながら対応していくという話は聞いている。

【原田会長】

・次回の会議について、事務局に説明を求める。

【木村班長】

・３月下旬の開催予定とするが、具体的な日程については調整し、後日お知らせしたい。

【原田会長】

・では、地域協議会は以上で閉会とするが、引き続き、話合いの充実に向けた研修を実施する。

【二宮副会長】

・閉会の挨拶

【原田会長】

・会議の閉会を宣言

９　問合せ先

名立区総合事務所　総務･地域振興グループ　　TEL 025-537-2121（内線 5504）

E-mail: nadachi-soumu.g@city.joetsu.lg.jp

１０　その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。